

JP50082422: ABSTRACT

The feature of this invention generates steam by contacting water and exhausts gas directly. And the things for which the mixed gas of this steam and exhaust gaseous is cooled, It is in catching the above-mentioned waterdrop by reproducing the waterdrop which uses as a core detailed particles, such as carbon contained in exhaust gas, and keeping this mixed gas passes to a filter.



(清)

特許願

(2,000円)

昭和48年11月26日

特許庁長官 藤原英雄殿

1. 発明の名称 排気ガスの淨化方法

2. 発明者

住所 横須賀市鎌が丘1丁目8番8号
氏名 等尾常美

3. 特許出願人

住所 横浜市西区北幸2丁目7番18号
氏名 株式会社 極精製作所

4. 代理人

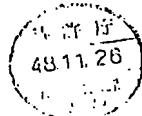
代表者 岩原勝二郎 (外1名)
住所 東京都大田区蒲田4-18-17竹沢ビル8階
氏名 (6075) 介理士 竹沢莊一
電話 03(7801)7038

5. 添付書類の目録

- (1) 明細書 1通
- (2) 図面 1通
- (3) 願書副本 1通
- (4) 委任状 2通
- (5) 代出願審査請求書 1通

方
式
在
用
者

48-131642
明細書



1. 発明の名称

排気ガスの淨化方法。

2. 特許請求の範囲

排気ガスを一たん水の中へ通すことにより、排気ガス中の比較的大きな固形成分を除去するとともに、水を加熱して水蒸気を発生させ、この水蒸気と排気ガスとの混合気体を冷却することにより、排気ガス中に含まれているカーボン等の微細な粒子を核とする水滴を生成させ、しかる後、この混合気体をフィルターへ通すことにより、前記の水滴を捕捉することを特徴とする排気ガスの淨化方法。

3. 発明の詳細な説明

煤煙とか各種内燃機関から出される排気ガスを淨化するに際して、これらの中に含まれているカーボン等の極めて微細な粒子を、フィルターによつて捕捉もしくは分離するには、一定の限度があるが、本発明は、排気ガス中における微細粒子を実質的に数倍ないし数十倍の大きさに拡大すること

⑯ 日本国特許庁

公開特許公報

⑩ 特開昭 50-82422

⑪ 公開日 昭50.(1975) 7.3

⑫ 特願昭 48-131642

⑬ 出願日 昭48.(1973) 11.26

審査請求 有 (全2頁)

府内整理番号

6941 32

⑭ 日本分類

51 D5/

⑮ Int.Cl²

F01N 3/00

により、その捕捉を容易ならしめるようにした排気ガスの淨化方法に関する。

しかして本発明の特徴とするところは、水と排気ガスとを直接に接触させることにより水蒸気を発生させ、この水蒸気と排気ガスとの混合気体を冷却することにより、排気ガス中に含まれているカーボン等の微細な粒子を核とする水滴を生成させ、しかる後、この混合気体をフィルターへ通すことにより、前記の水滴を捕捉することにある。

次に、上記本発明方法の具体的実施要領を、図に基づいて詳細に説明する。

(1)は排気管、(2)は水蒸気室で、排気管(1)より排出される高溫の排気ガスを、水蒸気室(2)内における水(3)の中へ送り込み、ここで、排気ガス中に含まれている比較的大きな固形成分を除去するとともに、水(3)を加熱して、水蒸気を発生させ、排気ガス中に水蒸気を飽和状態に近く導入させた混合気体を、導管(4)を経て、フィン(5)を有する冷却部(6)へ送り、露点以下に冷却する。

すると、混合気体中の水蒸気は、飽和状態以上

BEST AVAILABLE COPY

特開 昭50-82422 (2)

図は本発明方法の実施要領を示す縦断正面図である。

(1) 排気管	(2) 水蒸気室
(3) 水	(4) 導管
(5) フィン	(6) 冷却部
(7) フィルター	

特許出願人代理人 井理士 竹 沢 在一

とをつて液化するのであるが、よく知られているように、との液化は、混合気体中に固形成分がある際には、その固形成分を核として行われる。

すなわち、排気ガス中に含まれている微細粒子を核とするかなり大粒（核自身の数倍ないし数十倍に達する）の水滴が生成される。

この大粒の水滴を帯有する排気ガスをフィルター(7)へ通すと、微細粒子のままで捕捉不可能であつたものが、それを核とする大容積の水滴として、容易かつ確実にフィルター(7)に捕捉され、固形成分を殆んど完全に除去された清浄気体が、フィルター(7)より送り出されることとなる。

上述したように、本発明方法によれば、排気ガスを、一たん水の中へ通して、その比較的大きな固形成分を除去した後、水蒸気と混合して冷却することにより、排気ガス中に、固形成分を核とする大粒の水滴を形成させ、もつて、排気ガス中の微細な固形成分を、水滴とともに容易に捕捉分離し、殆んど完全に近い浄化を行うことができる。

外図面の簡単な説明

(3)

(4)

△前記以外の特許出願人

住所 横須賀市鎌ヶ丘1丁目8番8号

氏名 鶴尾 順美

